

直射日光下で使用できるハンディ 3D スキャナー

～工事現場の計測に最適～

Dot3D スキャナーは、室内外で使用できますが、最大の特長は炎天下でスキャンできることです。これまで、屋外で計測できるハンディ 3D スキャナーは高額でした。Dot3D スキャナーは狭いエリアの計測に適しており、安価で簡単に操作できるハンディスキャナーです。スキャナーはハード的には Windows PC + Intel RealSense で構成され、スキャンおよびデータ編集として、Dot Product 社の Dot3D ソフトウェアが付属します。カラー点群を出力可能です。

Dot3D スキャナーの構成：

1. ハードウェア：タブレット PC（ご希望の PC を選択可能）及び RealSense D415 センサ



RealSense D415 外付け
タブレット PC



Panasonic Toughpad



RealSense D415 内蔵型 PC



2. ソフトウェア：Dot3D Pro ソフトウェア

主な機能：

- ・計測の間、HD 画像の取得とビューイングが可能
- ・ターゲットの使用、座標値入力、3D クロッピング機能、測定、3D アノテーション機能、
- ・160 百万点/スキャン、複数のデータの最適化、平行面の拘束化機能

応用分野：

- (1) 建設現場で鋼材や鉄筋などを 3D 計測する
計測したデータ（点群データ）から部材の径を測定できます。CAD 図面を重ねて表示することで建設状況を把握できます。また、3D データを基にした施工管理に利用できます。定期的に計測することで、点群データを施工データとして管理します。
- (2) 地上型レーザースキャナーのデータの補完
地上型スキャナーで取り切れなかった陰の部分をスキャンし、データを追加します。ハンディタイプの為、基本的に手が入れば計測できます。
- (3) 屋外の構造物、道路、電線などファシリティ等に利用